

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-247439

(P2009-247439A)

(43) 公開日 平成21年10月29日(2009.10.29)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード(参考)
A 4 3 B 5/00 (2006.01)	A 4 3 B 5/00 3 1 0	4 F 0 5 0
A 4 3 B 13/14 (2006.01)	A 4 3 B 13/14 D	
A 4 3 B 13/36 (2006.01)	A 4 3 B 13/36	

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2008-96143 (P2008-96143)
 (22) 出願日 平成20年4月2日(2008.4.2)

(71) 出願人 000002439
 株式会社シマノ
 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地
 (74) 代理人 100107940
 弁理士 岡 憲吾
 (74) 代理人 100120938
 弁理士 住友 教郎
 (74) 代理人 100122806
 弁理士 室橋 克義
 (72) 発明者 細見 康雄
 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地 株式
 会社シマノ内
 Fターム(参考) 4F050 AA06 BA02 BA34 BA59 HA53
 HA57 JA21 KA11

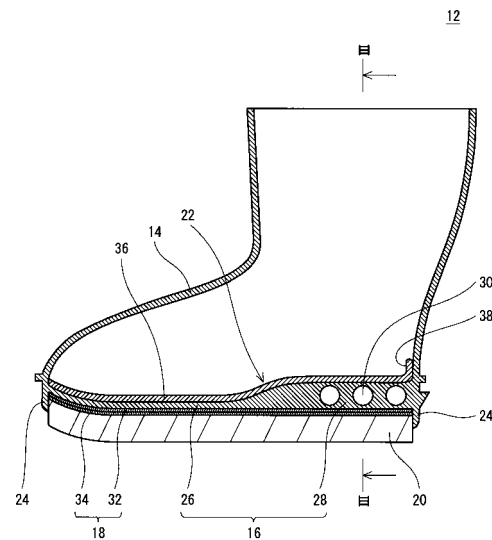
(54) 【発明の名称】 釣り用ブーツ

(57) 【要約】

【課題】 寿命が長く、釣りに適した姿勢が得られ、しかも容易に製造されうる釣り用ブーツ12の提供。

【解決手段】 ブーツ12は、アッパー14、ミッドソール16、面ファスナー18、アウトソール20及びインソール22を備えている。アッパー14及びミッドソール16は、射出成形法によって一体的に成形されている。ミッドソール16は、薄肉部26と厚肉部28とを備えている。薄肉部26は爪先側に位置している。厚肉部28は、踵側に位置している。厚肉部28は、3つの貫通孔30を備えている。アウトソール20は、面ファスナー18によってミッドソール16と積層されている。アウトソール20は、ミッドソール16に対して着脱自在である。インソール22は、爪先下がりに傾斜している。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

アッパーと、ミッドソールと、このミッドソールに対して着脱自在なアウトソールとを備えており、

このアッパーとミッドソールとが、射出成形法によって一体成形されており、

このミッドソールが、爪先側に位置する薄肉部と、踵側に位置する厚肉部とを備えており、

この厚肉部が空気室を有している釣り用ブーツ。

【請求項 2】

上記空気室が、インサイドからアウトサイドにまで至る貫通孔である請求項 1 に記載のブーツ。 10

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、釣り人に着用されるブーツに関する。

【背景技術】**【0002】**

釣りには、ブーツが利用されている。図 4 は、従来のブーツ 2 が示された断面図である。このブーツ 2 は、アッパー 4、インソール 6、ミッドソール 8 及びアウトソール 10 を備えている。アッパー 4 とミッドソール 8 とは、射出成形法にて一体成形されている。このミッドソール 8 に、接着剤にてアウトソール 10 が接合されている。このアウトソール 10 では、踵側が爪先側よりも厚い。従って、インソール 6 は爪先下がりであり、このブーツ 2 を着用する釣り人の足も爪先下がりである。この姿勢は、釣りに適している。この姿勢の釣り人は、疲れにくい。 20

【0003】

このブーツ 2 のアッパー 4 とミッドソール 8 とは、1 つの金型において、同時に成形される。このブーツ 2 の製造コストは、低い。低価格帯のブーツ 2 に、一体成形されたアッパー 4 及びミッドソール 8 が用いられている。

【0004】

このブーツ 2 が繰り返し使用されると、アウトソール 10 が徐々に摩耗する。摩耗の進行により、ブーツ 2 は使用に適さなくなる。アウトソール 10 が摩耗したブーツ 2 は、アッパー 4、ミッドソール 8 等が未だ使用に耐えうる状態であっても、廃棄される。このブーツ 2 の寿命は短い。 30

【0005】

アウトソールがミッドソールに対して着脱自在なブーツが、市販されている。このブーツでは、面ファスナーにより、アウトソールがミッドソールに接合されている。このブーツでは、アウトソールの摩耗が進行すると、このアウトソールがミッドソールから剥がされる。そして、新しいアウトソールが、ミッドソールに接合される。着脱タイプのアウトソールは、主として高価格帯のブーツに用いられている。着脱タイプのアウトソールを備えたブーツが、株式会社シマノ発行の「2007 Fishing Tackle Catalogue」の第 227 ページに開示されている。 40

【非特許文献 1】 株式会社シマノ発行の「2007 Fishing Tackle Catalogue」

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】****【0006】**

着脱タイプのアウトソールでは、その厚みはほぼ均一である。図 3 に示されたミッドソールに着脱タイプのアウトソールが適用されると、インソールがほぼ水平に延在する。従って、釣り人の足は爪先下がりにならない。この姿勢は、釣りに適さない。

【0007】

ミッドソールの踵側の厚みが大きくされれば、釣り人の足が釣りに適した姿勢となる。 50

しかし、厚いミッドソールの射出成形では、射出直後の凝固収縮等に起因して、ひけが生じやすい。ひけは、ブーツの品質を阻害する。

【0008】

本発明の目的は、寿命が長く、釣りに適した姿勢が得られ、しかも容易に製造されうる釣り用ブーツの提供にある。

【課題を解決するための手段】

【0009】

本発明に係る釣り用ブーツは、アッパーと、ミッドソールと、このミッドソールに対して着脱自在なアウトソールとを備える。このアッパーとミッドソールとは、射出成形法によって一体成形されている。このミッドソールは、爪先側に位置する薄肉部と、踵側に位置する厚肉部とを備えている。この厚肉部は、空気室を有している。

10

【0010】

好ましくは、空気室は、インサイドからアウトサイドにまで至る貫通孔である。

【発明の効果】

【0011】

本発明に係るブーツは、アッパーとミッドソールとが射出成形法によって一体成形されるので、容易かつ低コストで製造されうる。このブーツでは、ミッドソールが爪先側に位置する薄肉部と踵側に位置する厚肉部とを備えるので、釣りに適した姿勢が得られる。厚肉部が空気室を有するので、ミッドソールの成形時にひけが生じにくい。

20

【発明を実施するための最良の形態】

【0012】

以下、適宜図面が参照されつつ、好ましい実施形態に基づいて本発明が詳細に説明される。

【0013】

図1は、本発明の一実施形態に係る釣り用ブーツ12が示された正面図である。図2は、図1のブーツ12が示された鉛直方向断面図である。このブーツ12は、アッパー14、ミッドソール16、面ファスナー18、アウトソール20及びインソール22を備えている。

【0014】

アッパー14は、典型的には、ポリ塩化ビニルからなる。このアッパー14は、強度及び剛性に優れる。図示されていないが、アッパー14には、その内面に位置する裏地が積層されている。アッパー14が、他の合成樹脂からなってもよい

30

【0015】

ミッドソール16の材質は、アッパー14の材質と同一である。ミッドソール16は、アッパー14と一体成形されている。ミッドソール16及びアッパー14は、射出成形法によって得られる。ミッドソール16は、その外縁にリブ24を備えている。リブ24は、下向きに垂下している。

【0016】

ミッドソール16は、薄肉部26と厚肉部28とを備えている。薄肉部26は爪先側に位置している。厚肉部28は、踵側に位置している。厚肉部28の厚みは、薄肉部26の厚みよりも大きい。厚肉部28は、3つの貫通孔30を備えている。貫通孔30の数は、適宜決定される。

40

【0017】

図3は、図2のIII-III線に沿った断面図である。図3には、ブーツ12の一部が示されている。図3から明らかなように、貫通孔30は、ミッドソール16のインサイド(図3の左側)からアウトサイドにまで至っている。貫通孔30の一端は、インサイドにおいて開口している。貫通孔30の他端は、アウトサイドにおいて開口している。貫通孔30は、大気と連通している。貫通孔30は、空気室である。図2から明らかなように、貫通孔30の内周面の断面形状は、円である。他の断面形状を有する貫通孔30が形成されてもよい。貫通孔30の形態とは異なる形態の空気室が形成されてもよい。

50

【 0 0 1 8 】

面ファスナー 1 8 は、フック面 3 2 とループ面 3 4 とを備えている。フック面 3 2 は、接着剤によってミッドソール 1 6 に接合されている。ループ面 3 4 は、接着剤によってアウトソール 2 0 に接合されている。フック面 3 2 がアウトソール 2 0 に接合され、ループ面 3 4 がミッドソール 1 6 に接合されてもよい。典型的な面ファスナー 1 8 は、ベルクロ社のマジックテープ（登録商標）である。ミッドソール 1 6 のリブ 2 4 は、面ファスナー 1 8 よりも下方にまで延在している。

【 0 0 1 9 】

アウトソール 2 0 は、面ファスナー 1 8 によってミッドソール 1 6 と積層されている。アウトソール 2 0 の上部は、リブ 2 4 に囲まれている。リブ 2 4 により、アウトソール 2 0 のミッドソール 1 6 からの意図せぬ離脱が防止される。このアウトソール 2 0 は、フェルトからなる。アウトソール 2 0 が、架橋ゴムからなってもよい。アウトソール 2 0 が、スパイクピンを備えてもよい。アウトソール 2 0 の厚みは、ほぼ均一である。アウトソール 2 0 は、ミッドソール 1 6 に対して着脱自在である。

10

【 0 0 2 0 】

インソール 2 2 は、板状のベース 3 6 と、このベース 3 6 の周縁においてこのベース 3 6 から起立する側壁 3 8 とを有している。ベース 3 6 は、三次元形状を有する。このインソール 2 2 は、「カップインソール」と称されている。ベース 3 6 は、ミッドソール 1 6 の上面に載置されている。厚肉部 2 8 が薄肉部 2 6 よりも厚いので、ベース 3 6 のうち、厚肉部 2 8 に積層された部分は、薄肉部 2 6 に積層された部分よりも、上方に位置している。

20

【 0 0 2 1 】

前述の通り、ミッドソール 1 6 及びアッパー 1 4 は、射出成形法によって一体的に成形される。ミッドソール 1 6 及びアッパー 1 4 は、1 つの金型によって同時に成形される。厚肉部 2 8 は、成形体の中で最も厚み大きい。この厚肉部 2 8 に貫通孔 3 0 が存在することで、厚いにもかかわらず、厚肉部 2 8 に凝固収縮によるひげが生じにくい。貫通孔 3 0 により、健全な厚肉部 2 8 が得られうる。このブーツ 1 2 は高品質であり、しかも容易かつ安価に製造されうる。

【 0 0 2 2 】

貫通孔 3 0 は、ブーツ 1 2 のファッション性にも寄与する。貫通孔 3 0 は、ブーツ 1 2 の衝撃吸収性にも寄与する。

30

【 0 0 2 3 】

厚肉部 2 8 が厚いので、このブーツ 1 2 を着用した釣り人の足は、爪先下がりととなる。この姿勢は、釣りに適している。このブーツ 1 2 は、履き心地に優れる。このブーツ 1 2 を着用した釣り人は、足の疲れを感じにくい。履き心地の観点から、厚肉部 2 8 の最大厚み T_1 と薄肉部 2 6 の最小厚み T_2 との差 ($T_1 - T_2$) は 5 mm 以上 2 0 mm 以下が好ましく、8 mm 以上 1 5 mm 以下がより好ましい。

【 0 0 2 4 】

このブーツ 1 2 が繰り返し使用されると、アウトソール 2 0 が摩耗する。摩耗の進行したアウトソール 2 0 は、ミッドソール 1 6 から剥がされる。そして、新しいアウトソール 2 0 が、面ファスナー 1 8 によってミッドソール 1 6 に接合される。アウトソール 2 0 の交換により、このブーツ 1 2 が長期間にわたって使用されうる。このブーツ 1 2 は、経済的である。

40

【 0 0 2 5 】

材質が異なる複数のアウトソール 2 0 が準備され、釣り場の状況に応じて選択されたアウトソール 2 0 がミッドソール 1 6 に接合されてもよい。釣り人は、1 つのブーツを異なる用途に使用することができる。

【 0 0 2 6 】

ひげの抑制の観点から、全ての貫通孔 3 0 の合計体積は 2 cm^3 以上 25 cm^3 以下が好ましく、 5 cm^3 以上 15 cm^3 以下がより好ましい。

50

【産業上の利用可能性】

【0027】

本発明に係るブーツは、種々の釣り場において利用されうる。このブーツにトラウザー
が取り付けられ、ウェーダーが構成されてもよい。

【図面の簡単な説明】

【0028】

【図1】図1は、本発明の一実施形態に係る釣り用ブーツが示された正面図である。

【図2】図2は、図1のブーツが示された断面図である。

【図3】図3は、図2のIII-III線に沿った断面図である。

【図4】図4は、従来のブーツが示された断面図である。

10

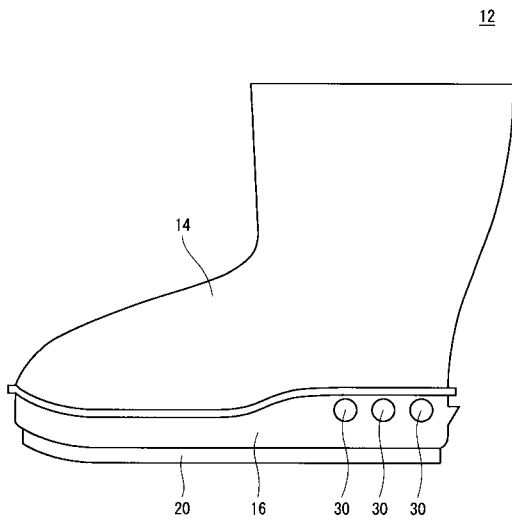
【符号の説明】

【0029】

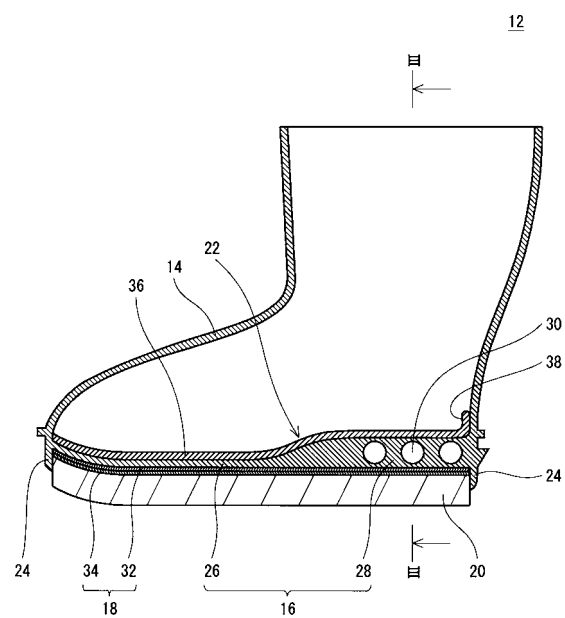
- 12・・・釣り用ブーツ
- 14・・・アッパー
- 16・・・ミッドソール
- 18・・・面ファスナー
- 20・・・アウトソール
- 22・・・インソール
- 26・・・薄肉部
- 28・・・厚肉部
- 30・・・貫通孔
- 32・・・フック面
- 34・・・ループ面

20

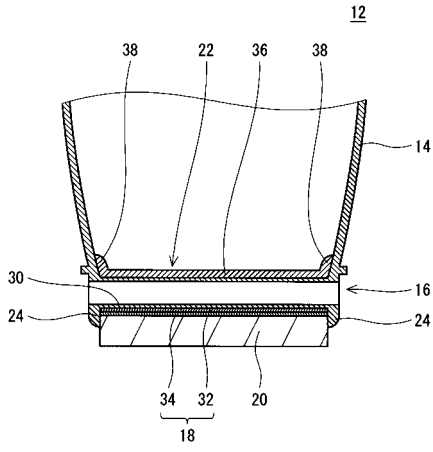
【図1】



【図2】



【 図 3 】



【 図 4 】

